

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
 - ・区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
 - ・会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
 - ・会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
 - ・会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
 - ・郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
 - 川崎ブレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
 - 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
 - 川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
 - かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1791
- 放送局
- 元住吉西口(ブレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)
 - ・果物 フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
 - ・音楽教室 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1 三起ビル302 Tel.044-750-8992
 - ・介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉G Sビル2F Tel.044-430-6963
 - ・カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
 - ・花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
 - ・鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
 - ・ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
 - ・パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
 - ・カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
 - ・コーヒー専門 MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
 - ・カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
 - ・接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
 - ・コミュニカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
 - ・時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
 - ・広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
 - ・ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
 - ・理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273
 - ・コインランドリーマンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217
- 元住吉東口(オズ商店街通り)
 - ・カフェ cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
 - ・介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
 - ・調剤薬局 網島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
 - ・飲み食い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
 - ・古本・CD 凸と凹と 中原区木月2-10-3
 - ・イタリア料理 自在屋 中原区木月4丁目10-6 Tel.044-433-5644
 - ・STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
 - ・お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
 - ・Sステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
 - ・サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
 - ・鍼灸院 和式整体 & 整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
- 元住吉近郊
 - ・喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688
- 武蔵小杉近郊
 - ・喫茶店 Coffee Spot Life (ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
 - ・紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
- 東横線沿線
 - ・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
 - ・調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
 - ・写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
 - ・カフェレストラン カンファーマ・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE

May

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories



http://ontomo.jp/

元住吉の気軽な音楽会

後援: 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公益財団法人 川崎市国際交流協会 人形劇団ひとみ座 /rk-factory

2018 5月号

5月 6日(日) 13:30~
5月20日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部

場所 フルッチョ2F M ギャラリー

5月17日(火) 12:10~
ランチタイム
ロビーコンサート

場所 川崎市生涯学習プラザ

5月28日(月) 13:00~
14:30~
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート

場所 フルッチョ2F M ギャラリー



ジャック・デジョンネット(Jack DeJohnette)は、アメリカのジャズ天才ドラマー。1960年代半ばより、ジャッキー・マクグリーン、リー・モーガンなどのグループでキャリアを積む。チャールズ・ロイド・カルテットではキース・ジャレットと一緒にの時期を過ごす。ビル・エバンスとの録音も残している(at the Montreux Jazz Festival)。1968年にトニー・ウィリアムスの後任としてマイルス・デイヴィスのグループに選抜。「ピッチェズ・ブリュー」や「オン・ザ・コーナー」などの歴史的名盤に参加。1970年代前半にはECMレコードにてデイヴ・ホランドと共にチック・コリアのレコーディングに参加。自己のグループではギタリストのジョン・アパークロンビーと組み、ディレクションズ、ニュー・ディレクションズの2つのグループで活動。ゲイリー・ピーコックと共にキース・ジャレットとのスタンダード・トリオの活動の録音作品等を残している。

田島華乃のお知らせ

ヴァイオリンとピアノで開催! ママのおひざで聴く ヴァイオリンコンサート

5月28日(月)
開催時刻:①13:00~14:00 ②14:30~15:30
コンサートの前後はちびバイオリン体験コーナーです。
★参加費 親子1組:2,500円(追加1名1,000円)

イダカフェでの 親子コンサート、 ありがとうございました。

4月をもって、イダカフェでの親子コンサートが終了しました。

2014年の12月に、初めて親子コンサートを開催してから、月に1度「ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート」を継続する事ができました。

思い返すと、記念すべき初回は2組のお客様でした。巨大絵本、ちびヴァイオリン、合奏用のおもちゃ楽器たち、譜面台、変装用帽子(笑)等々、重い荷物を持ちながら「ひょっとして、これはあまり求められていないイベントを企画しているのではないかしら」と、考えなが

らトボトボとブレーメン通りを帰った時の事を、今でも覚えています。そんな初回でしたが、それからリピーターさんが増えたり、web告知やMマガジンの発行を協力していただいたりしながら広報活動をした結果、沢山の親子に来ていただける親子コンサートとなりました。お客様が2組でも、15組でも本気度は変わりませんが、やはり多くのご予約をいただいた時はとても嬉しかったです。

私の親子コンサートでちびヴァイオリンを体験した事により、近くの音楽教室でヴァイオリンを習い始めた子も何人かいました。少し大きくなって、練習の成果を見せに来てくれた時、「小さな種ましかできないけれど、こんなに綺麗な花が咲くなら、やっぱり辞められない」と、決心した事もあります。

この3年半、本当に沢山の方々に支えられてコンサートを



●田島華乃



●ピアノ:片山祐子

●お問い合わせ・お申し込み音の家otonoya
https://otonoya.jimdo.com/
会場:Mミュージック&ギャラリー元住吉駅側、「フルッチョ」2F

開催する事ができました。引き続き、5月からは元住吉ミュージック&ギャラリーにて「ママのおひざで聴くコンサート」ピアニストの片山裕子さんと共にお届けしますので宜しくお願い致します。



川崎市国際交流センター

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

浮世絵から見る かわさき大江戸時代まつり

~今日一日、あなたは江戸の人~映画、テレビの時代劇の登場人物になりましょう!!

5月4日(金・祝)・5日(土・祝) 10:00~16:00(予定)

会場:川崎市国際交流センター[全館] 主催:かわさき大江戸時代まつり実行委員会

徳川幕府264年の庶民にスポットを当て、私共の「きもの」の技術で、会場全体が江戸時代にタイムスリップいたします。着物体験、カラオケ大会、世界の料理の屋台やその他出店あり。おススメは、浮世絵と真田幸村の甲冑「赤備え」の展示です。

●お問合せ かわさき大江戸時代まつり実行委員会 委員長:高島厚子 TEL 090-3875-4049

●開催場所 (公財)川崎市国際交流協会 TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010 E-mail:kawasaki@kian.or.jp 川崎市中原区木月祇園町2-2 元住吉駅から徒歩10分



川崎市生涯学習プラザ

第66回 ランチタイムロビーコンサート

2018年5月17日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

●出演:AKUアンサンブル (ボーカル/ピアノ)

●プロフィール:

私たち三人は職場の同僚で、音楽が大好きで、突然意気投合して突然結成しました。音楽が好きな三人トリオです。皆さんにも、お馴染みの曲から、クラシックの専門的なイ

タリヤ歌曲まで、歌とピアノにて、お楽しみください。知っている曲があったら是非一緒に歌って下さい。楽しいひと時になりますよう、心を込めて演奏します。

●予定曲:
・糸
・Caro mio ben
・ひまわり
・春よ来い
・やさしさに包まれたなら
・O del mio amato ben
・ふるさと

●お問い合わせ (公財)川崎市生涯学習財団 総務室企画情報係 ロビーコンサート担当 TEL 044-733-5811 E-mail:concert@kpal.or.jp 川崎市中原区今井南町28-41



Motosumiyoshi M Music & Gallery

浅井晴香&JAZZ・フレンドリー・ライブ

~元住吉の気軽な音楽会・街角ライブコンサート~
浅井晴香(V)、牧野クミ(P)、永瀬 晋(G)、松波陽介(B)

日時:
5月18日(金) 19:00~21:30

会場:元住吉・M・ミュージック&ギャラリー (元住吉駅前・フルーツショップ・フルッチョ2F)



ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School

http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
AM8:00/PM22:00start

フォレストコーヒー

イダナカ商店街店
中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

ゆうき亭

ブレーメン通り商店街、鉄板焼き
中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30 (LO 22:00) (休:火曜日)

モトスミ Jazz Night

●モトスミJazz Night委員会HP
http://motosumijazznight.org/ ●Tel:050-5275-5740



MOTOSHUMIYOSHI
「音友会」の活動拠点は
元住吉駅側、
フルーツショップ「フルッチョ」2F。
Mミュージック&ギャラリー

中原区木月1-35-1 フルッチョビル 2F

音楽好きな友の会
Music Enjoy Club

入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)

連載20 私とジャズ 松波陽介

中央線沿線ジャズ

新年度も始まり早1ヶ月、花粉の飛散の落ち着きとともに春を楽しめる時期になってきましたね。私は今年全くと言って花粉の影響を受けずに過ごすことができて、とても快適でした。



中央線沿線ジャズとは、戦後に在日米軍の関係から中央線沿線にジャズ喫茶が立ち並び、そのジャズ喫茶が時代を経て学生闘争時代にはアンダーグラウンド芸術などと関わりをもったり、様々な機能を持った場所として発展を遂げて今なおジャズのライブハウスや、ジャズ喫茶として残っているということでもあります。(もしこの話題にご興味のある奇特な方がいらっしゃいましたら、私の卒業論文をご覧に入れますので、ご一報ください。)

そして先ヶ月にご縁がありました。実に7年ぶりに中央線沿線のジャズ喫茶のライブに足を運びました。そのお店は実は7年前に自分のバンドで出演した経験があり、非常に懐かしいお店でもありました。早速足を運び、まづ本当に懐かしいと感じたのは、ステージと客席が近いということでした。であるから、ミュージシャンとの距離



も近く演奏が間近で聞けるし迫力が直接的に伝わってくる環境である、ということが言えます。そんな懐かしいことを考えているうちにライブは始まりました。先ほども書いたように、迫力と熱気が本当にストレートに伝わってくるのと同時に今回気付いたのは、演奏の細かなニュアンスがとても伝わってくるということでした。以前までは演奏の熱量に圧倒されるだけでしたが、冷静に聞く耳を持つことができるようになったことかな、とも思いました。そうこうしているうちにファーストステージは終わり、セカンドステージへ。ゲストとしてテナーサクソスの方(まさかの僕が大学に入り、一



番初めに憧れになったテナー奏者の方でした…)が加わり、一段とバンドのサウンドがパワフルになりさらに迫力のあるステージとなりました!そして何より中央線沿線のジャズ喫茶の醍醐味は終演後のにミュージシャンと観客が気さくに話している雰囲気です。とてもアットホームな感じで、時間が経つのも忘れてしまうような暖かい空間であり時間でもありません。また、帰宅の電車を待っている間に眺めた西荻窪の景色もとても懐かしく、温かみのある雰囲気になんとなく故郷を重ねてしまいました。中央線沿線は古くから続く商店街もあつたり、街並みもなんとなく哀愁の漂う

雰囲気があつたりととても魅力に溢れる街だな、ということ改めて感じるこの出来た夜になりました。

音友会Report 2018年3月音友会

ギターが奏でる素敵な音色



▲講師の永瀬 晋氏

井田中ノ町商栄会の恒例行事「イダナアカデミー講座」が音友会の第1日曜日「レコード倶楽部・ジャズからポップス」の時間を活用して行われました。音友会スタッフで「ソウ

リーヴ・ミュージック・スクール」のギター講師および主幹の永瀬晋さんを講師に迎えて「すてきなギター演奏とギター物知り講座」が行なわれました。ギターという楽器はシンプルでポピュラーな楽器でありながら、上達してくるといろいろな演奏方法が出来て、一人でメロディー部分とベース部分を奏でる事、また、エフェクター(原音を加工する事により歪み音を中心に様々な音を作り出す音響装置)を使用する事によりいろいろ

な音色が出せる事など説明を踏まえて目の前で実践していただきました。また、ギターの種類もいろいろあり、大きく分けるとアコースティックギターとエレキギターがありますが、アコースティックギターにもアンプを接続する部分がある事も初めて知りました。お話しの間際に永瀬さんのオリジナル曲を含め、何曲か演奏を聴きましたが、どの曲も素晴らしく最後にはアンコールの要望が出る程でした。

ちなみに永瀬さんにお聞きしたところ、好きなジャンルとしてはスティビー・レイ・ボーンなどのブルース系との事。講座終了後は、引き続き音友会のレ



▲Round Midnight with Nelson Riddle and His Orchestra

コード倶楽部で楽しみました。ギター演奏を中心の数枚のCDを流しました。最後にネルソン・リドルオーケストラをバックに元カントリーロックの歌姫リンダ・ロンシュタットがジャズのスタンダード・ナンバーを歌う⑥"ラウンド・ミッドナイト"で締めさせていただきます。(フレドリック・ジョーンズ

連載17 4ビートに首ったけ

違う時代のギターを一気に聴いてみましょう!

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

楽器の演奏ができる人が羨ましい!皆さんは何かできますか?もし出来たらステキですよね。この「Mマガジン」はミュージシャンの方がたくさん関わっているので、皆さん楽器の演奏はお手の物なんでしょうね。羨ましい限りです。私はと言うと、10代頃の頃にギターを弾いていたのですが、結局モノにならず、バンドでは背が高いと言う理由だけでベースを弾いていました。でも、ギターへの憧れから、昔使っていたグレコの黒レスポールを今でも大切に保管しているのですよ。

そんなわけでギターの音色が大好きです。ソウルではナイル・ロジャースのカッティング奏法の歯切れの良い音、ブルース・ロックではデュエイン・オールマンのスライドギターの響き、ジミー・ヘンドリックスの演奏する"リトル・ウイング"のギター音色とか、どれも鳥肌ものです。もちろんジャズギターも大好きなので、今回は時代の違うジャズギターアルバム3枚を紹介させていただきますね。

まず1枚目はジョニー・ス

ミスの「Moonlight In Vermont」(写真①)。1952~53年と比較的古い録音で、スタン・ゲッツとズート・シムズがテナーを吹いているのが聴きどころではないでしょうか?ピンクのジャケットもイカシてますね。ジョニー・スミスのどこか上品で優雅で洗練されたプレイが印象的です。どの曲も2~3分と短いのですが、スタン・ゲッツのさりげないフレーズなどがカッコ良いです。表題曲の「Moonlight In Vermont」は一度聴けば忘れられない名演奏だと思います。古き良き時代の平和なジャズと言う感じですね。

2枚目は11~2年後の1964年に録音されたグラント・グリーン「Street Of Dreams」(写真②)。この10数年でジャズって大きく変わったんですね。ビバップからハードバップに進化し、更に新主流派へと移行変わってきています。このアルバムはその変化を地味に表現しているのではないのでしょうか?決して名盤では無く、似たようなテンポの似たような雰囲気の曲が4



▲②Grant Green/Street Of Dreams

曲だけで、たった33分のアルバムです。とても退屈に感じる人も多いかもしれませんが、私は大好きで、病みつきになってしまいました。ポピー・ハッチャーソンのパイプとラリー・ヤングのオルガンが醸し出す心地良い浮遊感が堪らない。ドラムのエルビン・ジョーンズも含めて、4人誰もが熱くはない!黒タとしたメンバーなのに、ソウルフルじゃ無いんです!凄く醒めていて、抑えた演奏をしています。4曲どれもがカッコ良いのですが、例えば1曲目「I Wish You Love」では初めから5分以上続くグラント・グリーンがギターが心地良い。3曲目「Street Of Dreams」ではラリー・ヤングの「言いたいことは一杯あるけど、我慢してあまり言わない」的な演奏が心地良い。4曲目「Somewhere in the night」はグラント・グリーンとポピー・ハッチャーソンのユニゾンが心地良い。とにかく心地良くリラックスしたい方にはお勧めのアルバムです。

最後は更に35年後、1999年録音、オフ・コースの「Street Secrets」(写真③)。あれです、オ



▲③Off Course/Street of Secrets

フ・コースと言っても「愛を止めないで〜」とは違いますよ。ハンガリーの4人組です。2枚目と題名が似ていますよね。これは多分偶然だと思います。で、内容はと言うと、ジャズはこの35年間はあまり変わらなかったのでしょうか?2枚目と雰囲気似ています。やはり心地の良い浮遊感が印象的です。ただ、決定的に違うのは、アメリカのジャズは醒めてクールな演奏でも、音の底には温かさが感じられるのに、ヨーロッパのジャズは音の残像とか響きの中に冷えびえとした寒さを感じる。例えボサノバのリズムでも哀愁と言うより寂寥感を感じるのは私だけでしょうか?どうしてかな?録音技術者の傾向とかなのでしょうか?

今回は3枚とも地味なアルバムでしたね。きっと私は地味な音楽が好きなんだろう。お付き合い、ありがとうございました。そう、フラメンコギターも忘れちゃいけません。また、次の機会にとっておきますね。

Essay 「くじら座」日記 牧野ケント

CDを夢と交換する意味

「僕ら、音楽にしか興味がないです」と発言するミュージシャン。うんうん、と波打つように上下に揺れる観客席が温かい。唯一人、その温かさに違和感を感じた僕だけを除いて。

音楽は人から生まれるものだ。従って、創る人が持っているもの以上のものが出来上がることはなく、どんなに考え練りこんだとしても最大値が等身大である。ものづくりの人間は「職人」だ。一つの道を極めるべく仕事に取り組み職人には専門性という強みがある

一方で、他者への関心という見落とされがちな側面がある。相手のことに関心を持たず、知ろうとできない人からつくられる作品は殻に籠りがちだ。だから私は声を大にして主張したい。「音楽以外のことに興味を持つと、回り回って音楽に言葉が吹き込んでくれる」ということを。

長期にわたって伸びる成長の鍵は、たいてい言われて「ズキッ」とする言葉の中にある。周囲が常に指摘してくれる環境は、苦しいけれど有り難いものだ。温もり



ある作品を創れるよう、様々なことを知るミュージシャンとして心を鍛える必要がある。「僕ら、君のことに関心があるんです」

くじら座は今、CDを夢と交換させて頂いている。夢はその人のことを知れる一

歩だ。しかも、夢は等身大じゃない。これから自分になりたい大きさを教えてくれる。音楽を通じて人と出逢えたこと、それが僕にいろいろな手段を教えてくれている。

'Swingtime at idacafe'

Jazz Date 116回目の特集は文字通りの'Swingtime at idacafe'となりました。1929年世界大恐慌によりアメリカの経済は破綻をきたし失望のどん底にいた国民に、つかの間の喜びを与えたのがスイング・ジャズでした。1930年代の半ばに入り景気がやっと上向きになってきた頃、ベニー・グッドマンの登場により明るく誰でも親しめるスイング・サウンドは大衆の人気を獲得し、アメリカの国民的音楽に押し上げたと言われています。D.Jが13歳位の時にラジオ番組のオープニング曲に使わ

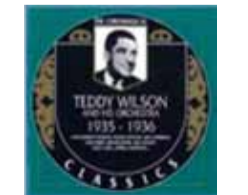
れていたというベニー・グッドマンの曲 'A Smo-o-o-oth One' (写真1)からその時代の映像が見えてくる様な気がしました。さらに初めて聴いた時に大きな感動を覚え、SPレコードを何度も繰り返し聴いたと言われている、ティディ・ウィルソンの曲 'Blues in C Sharp Minor' (写真2)は私にもジーンと伝わってくるものがありました。レズミにある全15曲の録音年度が、1933年から1996年と広範囲だったのには訳がありました。単にスイング時代の音楽だけを聴くというのではなく、この系統はきちんと引き継がれているし

守ってほしいというD.Jの思いが込められていたのです。その証となる2枚のアルバムが紹介されました。「BOB WILBER AND THE SCOTT HAMILTON QUARTET」(写真3)でボブ・ウィルバーと共演したスコット・ハミルトンは1954年生まれで1976年頃のブロードビュアーにもかわらず、ベン・ウェブスター、コールマン・ホーキンス系のスタイルであり、両者には親子並み26歳の差がありました。もう一枚「DOC CHEATHAM & NICHOLAS PAYTON」(写真4)は、録音時に91歳と23歳となんと68歳の開きがあり孫との共演に近いで

すね。しかし二人がともに尊敬するルイ・アームストロングの影響を意識しながらの熟演でした。ビ・バップが生まれたこと、国民的音楽がジャズからロックに移ったことなどが原因でスイング・ジャズはどんどん衰退してゆきましたが、アルバム制作側もD.Jと同じく国民的音楽として一時代を築いた「スイング・ジャズ」の魂をこれからも残し続けたいのではないのでしょうか。演歌や民謡を根強く求める国民に、音楽を提供し続けている日本の音楽業界も同様に思えます。(K.T記)



▲① Benny Goodman combos



▲② Teddy Wilson and His Orchestra



▲③ BOB WILBER AND THE SCOTT HAMILTON QUARTET



▲④ DOC CHEATHAM & NICHOLAS PAYTON

Advertisement for Ontomo Music Record Club featuring a 'Jazz Date' event on May 20th at Blue Note 1500. The ad includes details about the event, ticket prices, and a list of featured artists like Benny Goodman, Teddy Wilson, Bob Wilber, and Doc Cheatham.

Essay Addicted to Guitar-5 永瀬 晋

ピックも色々

お世話になっております。早いものでもう夏がやってきてしまいましたが、季節の変化はやはり新しいことに挑戦したくなる気分です。という訳で、今月またギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。

今回はギターアクセサリーについてお話していましたが、今回はまた様々なジャンルに欠かせない

ピックについてご紹介していこうと思います。このピックも大きさ、硬さ、材質、形状など、とんでもない数が販売されているので、どれを使っているのか迷ってしまうと思いますが、一般的に形状の違いによる用途もある程度確立してしまっていて、大きく2つ



の要素をご紹介させて頂こうと思います

・大きさ

初心者の方には手からずれにくい大きいタイプがお勧めです。小さいものは細かいニュアンスを出しやすいと言われますが、手からずれやすく、少々コントロールが難しいです。

・硬さ

初心者の方には多少しなりのある柔らかいものが

お勧めです。硬いものの方が音量のコントロールなどがしやすいですが、弦の張力がダイレクトに伝わるため、こちらも手からずれやすく扱いが難しいです。

以上のポイントをつかんでいただくいろいろなピックを使い分ける知識に役立つと思います。

是非楽器屋さんで自分に合ったピックを探してみてください!!

ではまた次回。